

国登録有形文化財「旧田代家住宅土蔵」の解体及び施設休館について

1 事業内容

旧田代家住宅土蔵（天竜区二俣町鹿島）については、倒壊の危険性があるため、安全を最優先にする観点から解体する。これに伴い、工期中施設を一時、休館する。

2 文化財の概要

- ・江戸時代の天竜川舟運で栄えた田代家にまつわる建造物（昭和前期建築）
- ・旧田代家住宅主屋（江戸末期建築）とともに平成27年に国登録有形文化財に登録
- ・文化財施設として天竜区まちづくり推進課が所管、管理を鹿島田代家交流振興会に委託（開館日：土曜・日曜・祝日（12月～2月は日曜・祝日のみ）開館時間：10時～16時 料金：無料）
- ・令和2年の長梅雨により劣化が進行

3 解体工事概要

- ・工期 令和3年1月末～3月（1か月程度）を予定（工期中は施設休館）
- ・予算 アセットマネジメント推進課予算

4 解体後の復元

- ・「旧田代家住宅保存活用事業」を浜松市文化財保存活用地域計画（令和3年度策定予定）の文化財保存活用区域「天竜二俣区域（仮）」の主要事業に位置付ける。
- ・主屋を含めた旧田代家住宅の保存活用方針を定め、その中で土蔵の将来像について検討する。



図1 旧田代家住宅の位置

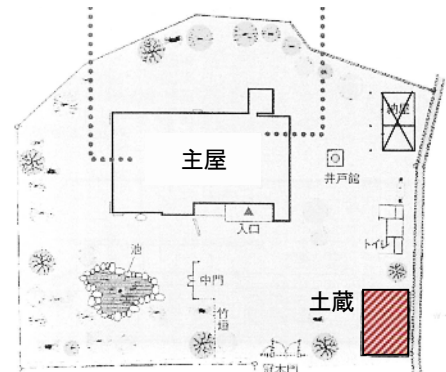


図2 旧田代家住宅の敷地



写真1 旧田代家住宅主屋



写真2 旧田代家住宅土蔵

5 土蔵の現状



写真3 軒下漆喰崩落状況

軒下の漆喰が崩落し、破片が地面に落下している。



写真4 雨漏り状況

瓦がずれて屋根に穴が空く。雨漏りがひどく野地板の腐食が進む。



写真5 なまこ壁の剥落状況

壁が上部の重みで沈んでおり、なまこ壁が剥落している。



写真6 外壁の漆喰崩落状況



写真7 外壁の破損状況

土蔵全体にひずみが生じており、外壁のゆがみが著しい。